

第16回  
日本鍼灸史学会学術大会  
プログラム

特別講演

「幕末考証医学を支えた漢学者たち」

二松学舎大学東アジア学術総合研究所専任講師 町泉寿郎

一般演題 42題

大会日程: 2008年11月22日(土)・23日(日)

大会会場: 京都会館 会議場

京都市左京区岡崎最勝寺町13番地

TEL 075-771-6051

主催: 日本鍼灸史学会

<http://homepage3.nifty.com/rinbunkai/>

後援: 日本鍼灸研究会

# 講演日程

## 第1日 11月22日（土）

受付開始（9：30）

開会式（10：00～10：10）

### 《午前の部》

#### 一般講演 1 中国鍼灸①（10：10～11：00）

座長：宮川隆弘

1. 『太平聖恵方』の鍼灸
2. 『銅人』兪穴部分における版本の異同
3. 「金代の医薬書中にみる鍼灸条文について」
4. 「元代の医薬書中にみる鍼灸条文について」

宮城 浦山久嗣  
秋田 堀江 奨  
大阪 橋本典子  
京都 大井康敬

#### 一般講演 2 医経①（11：05～11：55）

座長：家本誠一

5. 「顧從徳本『素問』の細字注の字数」
6. 「十二卷本『靈枢』諸版本の比較」
7. 『内経要字苑』の検証
8. 『靈素商兌』について

神奈川 川添 隆  
東京 石井謙蔵  
東京 篠原孝市  
岐阜 宮川隆弘

### 《午後の部》

#### 一般講演 3 中国鍼灸②（13：10～14：10）

座長：山岡傳一郎

9. 『医方類聚』の鍼灸条文について
10. 『玉機微義』の鍼灸
11. 『医学入門』の鍼灸
12. 「薛己の外科鍼灸」
13. 『證治準繩』の女科における鍼灸について

大阪 木場由衣登  
京都 鶴田泰平  
京都 永嶋泰玄  
神奈川 上田善信  
京都 田中利江子

#### 一般講演 4 中国鍼灸③・日本鍼灸①（14：15～15：05）

座長：鶴田泰平

14. 「食に関する主治条文の検討——『明堂』系鍼灸書に見える嘔吐条文」
15. 「不妊症のマインドマップ～明堂経復元主治条文臨床応用のための試み～」
16. 「生理痛を主訴とする24歳女性の一症例」
17. 『家庭に於ける実際的看護の秘訣』の鍼灸

京都 鋤柄誉啓  
愛媛 ○大宮由起子  
山岡傳一郎  
愛媛 ○谷村依里  
山岡傳一郎  
京都 湯浅宜子

#### 一般講演 5 中国古代医学・病證①（15：10～16：00）

座長：浦山久嗣

18. 「聖人の時代・第5報」
19. 「六朝期までの頭痛の概念」
20. 「金元期医学再検討の一試み—河間易水学派を中心に」
21. 「江戸期における求嗣の考察——『婦人寿草』を中心として」

岡山 恒枝信三  
京都 中川俊之  
大阪 三鬼丈知  
東京 山田恵美

#### 一般講演 6 病證②（16：05～17：05）

座長：寺川華奈

22. 『病名彙解』に見える字書について
23. 『薬雅』について

三重 杉浦 雄  
神奈川 竹内 尚

24. 「『体雅』三種の抄本について」 宮城 小原恵子  
 小野寺智 今野弘務 白藤浩子 高橋雪絵 森英明 浦山きか
25. 「『体雅』の引用書について」 宮城 高橋雪絵  
 小野寺智 小原恵子 今野弘務 白藤浩子 森英明 浦山きか
26. 「『体雅』の記述形式について」 宮城 浦山きか

**一般講演 7 中国鍼灸・脈診 (17:10~17:50)**

27. 「九鍼十二原篇における刺法解明の試み」 愛媛 山岡傳一郎 大宮由起子 座長：浦山きか  
 山見 宝 光藤英彦  
 28. 「経脈と俞穴」 神奈川 家本誠一  
 29. 「紅葉山文庫旧蔵明鈔本『幼幼新書』附録の脈書五種について」 神奈川 吉岡広記

懇親会 (18:10~20:10)

**第2日 11月23日 (日)**

(午前の部)

**一般講演 8 日本鍼灸・病證 (10:10~11:00)**

30. 「匹地流の鍼灸書について・第2報」 座長：山崎陽子  
 兵庫 岩田源太郎  
 31. 「江戸時代湯液家の鍼灸について」 愛媛 寺川華奈  
 32. 「『十二経筋發揮』について」 大阪 今西 健  
 33. 「『啓迪集』の病門について」 東京 小田宏行

**一般講演 9 医経 (11:05~12:05)**

34. 「『靈枢』の字数について」 座長：吉岡広記  
 京都 信朝綾子  
 35. 「『黄帝内経』の日数表記の意味について」 大阪 竹崎めぐみ  
 36. 「『黄帝内経』灸法考」 兵庫 後藤直剛  
 37. 「『素問』『靈枢』における薬治法の検討」 大阪 若林研二  
 38. 「『素問』養生諸篇における楊・王二注の考察」 京都 足立美穂

(午後の部)

**特別講演 (13:15~15:15)**

39. 「幕末考証医学を支えた漢学者たち」 座長：荒木ひろし  
 東京 町泉寿郎

**一般講演 10 日本近世医学・日本鍼灸・中国鍼灸 (15:25~16:15)** 座長：木場由衣登

40. 「荻生徂來と『二火辨妄』 - 「儒」と「医」の交流・その1 - 」 茨城 荒木ひろし  
 41. 「堀流の経穴書について 『挨穴明弁』と『挨穴捷徑』」 大阪 山崎陽子  
 42. 「かかとの灸について」 兵庫 橋本史代  
 43. 「明代眼科書の鍼灸」 大阪 二宮乾輔

閉会式 (16:15~16:25)

日本鍼灸史学会第17回学術大会 開催予告

日時：2009年11月21日(土)~22日(日)  
 会場：京都市国際交流会館(予定)  
 内容：特別講演のほか、医経、中国鍼灸、日本鍼灸、病證、脈診、経穴に関する  
 一般講演、シンポジウム等を予定

## 大会参加申込について

大会及び懇親会参加の申込につき、下記の通りご案内いたします。

**大会参加費 10000円**

**申込方法** 大会参加費は会場受付にて直接お納めください。

学会参加のお問い合わせは、下記の実行委員会宛にお願いします。

\* 大会参加者には、後日、「日本鍼灸史学会論文集」第5輯を進呈いたします。

**懇親会参加費 4000円**

**申込方法** 葉書、電話、ファックスにて下記実行委員会までお申し込みください。

**申込先** 〒227-0055 横浜市青葉区つつじが丘23-9-501 上田方

日本鍼灸史学会実行委員会 TEL・FAX 045-983-5266

「鍼灸考97論文集」、「日本鍼灸史学会論文集」第2～4輯 刊行予告

大会開催時に「鍼灸考97論文集」(予価3000円)、年内に「日本鍼灸史学会論文集」第2輯(13回大会参加者には進呈。予価4000円)、第3輯(14回大会参加者には進呈。予価4000円)、第4輯(前回15回大会参加者には進呈。予価4000円)を刊行いたします。

御希望の方は、取扱書店、または日本鍼灸史学会実行委員会宛にお申し込みください。

## 会場のご案内

### 交通機関

阪急・河原町より

市バス5,32,46系統 京都会館・美術館前下車

市バス31,201,203系統 東山二条下車

JR京都駅より

市バス5系統 京都会館・美術館前下車

市バス206系統 東山二条下車

京阪・三条駅より

市バス5系統 京都会館・美術館前下車

京都市営地下鉄・東西線東山駅より徒歩10分

